

野田市鈴木貫太郎記念館再建基本構想（素案）に対する意見募集の結果について

パブリック・コメント手続によって寄せられた意見と市の考え方は、次のとおりです。

1 政策等の題名

野田市鈴木貫太郎記念館再建基本構想（素案）

2 意見の募集期間

令和6年1月19日（金曜日）から令和6年2月19日（月曜日）まで

3 意見の募集結果

①提出者数・意見数		7人	9件
②提出方法	直接持参	2人	3件
	郵送	0人	0件
	F A X	2人	3件
	Eメール	1人	1件
	ちば電子申請サービス	2人	2件
③政策等に反映した意見			2件

4 意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
全体			
1	<p>まず将来にわたり保存するのですからよくありがちな上物を建てれば済む等の問題でない恒久的な計画を立てること。</p> <p>資金計画、特に保存管理費用の設定とそれに伴う観覧料をキチンと決めること。寄付はいくら募るか、毎年の維持管理費に対しマイナスにならないための観覧料の設定です。</p> <p>記念館のみに来館するのでなく周辺の施設や観光の名所と組み合わせ、一定数の来館者が読めるようにするなど具体案の提示が必要です。あくまで民間ビジネスの処方が必要だということの認識。</p>	<p>野田市鈴木貫太郎記念館再建基本構想につきましては、再建整備の方針等を記したもので、頂いた御意見のとおり、本件の基本構想を踏まえて、予算等を想定した上で、施設の配置や広さ等について基本計画に定め、周辺施設と相互に連携を図りながら、観光の拠点として整備していくことを予定しております。</p> <p>また、校外学習での活用はもちろん、生涯学習の中心となるような施設とすべく、今後定める基本計画において、具体的にまとめていく予定です。</p>	修正無し

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
	<p>モデルは茨城県境町の成功例です。茨城県がすぐですから茨城に行くときによってもらってもいいわけです。もしこの野田最北端のこの記念館の周りに見どころがなければ最悪です。周辺環境の中で楽しいとか、関心がある、寄ってみたいところをアプローチしないとイケません。野田市や各地の小、中学校の社会科見学や遠足のコースを設定しアピールすることなどです。</p> <p>野田市の様に南北に長い市町村や東西に長いところもあるでしょう。貫太郎を知らない今の若い人をまず紹介することから地道に活動できる人を雇うことも必要です。ものかねの次は人材です。ものがあれば人は来るわけではありません。有名なかたなら人が訪ねてくるとは思いません。是非ここに来てくださいという紹介です。偉人のことを伝え、建物を保存するのでしたらいい人材教育をして、維持費のなかに人件費用も入るわけですかそれはどうするか。市の経費を当て込むのかどうするかはビジネス感覚が必要です。</p>		
大項目 2			
2	<p>具体的には対華 2 1 条の鈴木さんの考え方を示しては、どうでしょうか。政府の不信(大隈内閣)(陸軍田中義一参謀次長)への 1 9 1 4 年 1 2 月 8 日の反論。9 年後(張作霖爆殺事件)の鈴木侍従長と昭和天皇の信頼関係</p>	<p>野田市鈴木貫太郎記念館再建基本構想における貫太郎が残した代表的な言葉や揮毫は、貫太郎の人となりを紹介するため、貫太郎が示した発言や記述のうち、公に発せられているものを記載しています。</p> <p>頂いた御意見の「対華 2 1 か条</p>	修正無し

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
		<p>要求」への貫太郎の考え方につきましては、浜面又助文書の田中義一宛て鈴木貫太郎書簡において、貫太郎は中国へ圧力をかけるのではなく、支援を行うべきとの意見が述べられていますが、この意見は書簡であるとともに公に発せられていないことや、書簡の内容が貫太郎個人の意見として断定することができないため、基本構想への記載しないこととさせていただきます。</p> <p>また、侍従長時代の昭和天皇との関係につきましても、貫太郎の代表的な言葉としては示せないため同様といたします。</p>	
大項目 4			
3	<p>現在までの展示では、鈴木閣下やタカ夫人と地元関宿や野田との関わりが少なかったように思われます。戦前からの住民との交流を画像や文献等を交えて展示を割っていただきたいです。そうすればより閣下やタカ夫人が身近に感じられ地元の偉人として誇りになると考えます。</p>	<p>頂いた御意見のとおり、関宿地域の活性化を促進し、一過性ではなく、市内外から繰り返し多くの人々が訪れるような施設とするため、地元の方からは、地元の偉人として身近に感じられ、誇りと感じてもらえるよう、展示内容等について今後定める基本計画において、具体的に検討してまいります。</p>	修正無し
4	<p>調査研究及び生涯学習として、「記念館友の会」をぜひ組織して下さい。野田市内の博物館、美術館では、千葉県立関宿城博物館にしかありません。</p> <p>野田市では長い間、学芸員は埋蔵文化財事務をしていて博物館事務が十分に出来ず、企画展は年1度でした。野田市の調査研究が遅れました。他市を見ると、流山市、松戸市、市川市立の博物館に</p>	<p>頂いた御意見のとおり、鈴木貫太郎記念館が将来に渡って、博物館としての機能を備え、円滑に運営していくためには、多くの関係者の方々の御協力が必要であると認識しております。</p> <p>今後、博物館としての機能を十分に発揮できるよう運営管理方式を検討していく中で、設置を検討してまいります。</p>	修正無し

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
	<p>は友の会があり地域の歴史を掘り起こし、博物館と協力してる。野田市及び野田市教育委員会は、友の会の存在を負担に考え、設置してこなかった。そのために、野田市の調査研究は近隣市に比較し大変遅れている。</p> <p>野田市の年表を例にすれば昭和46（1971）年まで約50年分野田市も郷土博物館もその後の年表を作成せず、発行予定は10年後である。</p> <p>これでは、市民が野田市を調査しようとしても出来ない。指導する学芸員も講座もない。担当課に提案しても門前払い。友の会の必要はないとの回答でした。鈴木貫太郎記念館は、市長部ですから希望しています。野田市だけでなく全国から情報を入手するためには、学芸員だけでは困難です。友の会組織をつくり、会員から情報を得られればスピーディーに情報収集ができるはずです。</p>		
5	<p>市内には鈴木貫太郎記念館、関根金次郎記念館、野田市郷土博物館、こうのつりの里と展示室を備える施設が北から南にうまく分散して存在しています。そこで、関宿地域内にとどまらないこれらの施設の連携と各施設への周遊を目指した施策を鈴木貫太郎記念館再建基本構想の段階から示しておくべきと考えます。</p> <p>ご承知のとおり、野田市郷土博物館では、市内の色々な施設（鈴木貫太郎記念館を含む）をネットワーク化して連携する地域づく</p>	<p>記念館の再建は、登録博物館として様々な分野との連携による地域社会への貢献ができるよう観光振興の拠点として機能する施設を目指しています。</p> <p>また、にぎわいの創出効果を一層高めるため、関宿あおぞら広場を始めとする周辺施設の効果的な利用について検討することとしておりますが、頂いた御意見のとおり、「市内の色々な施設とのネットワークを活用し、一体的な観光機能を高める施策の実施」につきましても検討していくこと</p>	修正有り

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
	<p>りネットワークに取り組んでいます。</p> <p>また、野田もの知り検定企画実行委員会が野田市の魅力発信事業として提案し、採択された事業では、鈴木貫太郎記念館、野田市郷土博物館、関根金次郎記念館、こうのとりの里を対象にしたクイズを出題する端末をそれぞれの施設に設置し、連携性を持ったクイズ企画を実施しています。</p> <p>以上の野田市郷土博物館や野田もの知り検定企画実行委員会のような考え方を基本構想にあたっては参考にさせていただきたいと思います。</p>	<p>から、追加修正いたします。</p>	
6	<p>現在の記念館の隣接する旧商店敷地を買い上げて台町交差点北側一帯をあおぞら広場とともに整備して社会教育、学術研究、観光の拠点となるように要望します。</p> <p>なお、県道バイパスの開通に伴い交通量の変化が見込まれ、より地域の特性を活かした経済活性化が必要であるとも考えています。</p>	<p>にぎわいの創出効果を一層高めるため、関宿あおぞら広場を始めとする周辺施設の効果的な利用を検討していくことから、一体的な利用が図られるよう隣接地の用地取得についても検討してまいります。</p> <p>また、地域の特性を活かし、関宿城博物館を始め市内外の関連施設との連携を図ってまいります。</p>	修正無し
7	<p>再建場所に当たっては、住居跡地に隣接した場所に建設することが好ましいことですが、建設当時から60年が過ぎ、建物周辺は大きく変化し道路網などは整備され、また、関宿橋からの境～杉戸線のバイパスが近く開通されることから既存の千葉県立関宿城博物館と共存する一体的な魅力ある町づくりが求められている。</p>	<p>現在の鈴木貫太郎記念館が地元と中央政財界の顕彰活動が一体となり、貫太郎の住居跡に隣接して建てられていることから、貫太郎の功績を顕彰する記念館として、同地に立地することに大きな意義があり、記念館に隣接する関宿あおぞら広場を活用し、観光振興の拠点として整備を図ってまいります。</p> <p>また、頂いた御意見のとおり、</p>	修正無し

No.	意見の概要	市の考え方	案の修正
	<p>県境の立地条件を最大限に活かしつつ隣接する茨城県、埼玉県の中継拠点として観光資源となるよう関宿にここ水辺公園入口付近の駐車場に建設する。</p>	<p>地域の特性を活かし、関宿城博物館を始め市内外の関連施設との連携を図ってまいります。</p>	
8	<p>今の世界的状況も考えると、貫太郎の辞世の言葉である「永遠の平和」は皆に訴えるにふさわしい言葉と思います。敷地の目立つところにポールのような形で掲示できると良いと思います。</p> <p>また、火災があるとすべてをなくしてしまいますので、スプリンクラーなどの消火設備も忘れずをお願いします。</p>	<p>鈴木貫太郎記念館の象徴で正面に建っている「為萬世開太平（何世代も続く世のために平和な世をつくる）」の塔碑を残し、引き続き再建後の記念館の象徴として整備してまいります。</p> <p>また、設備につきましては、建築にかかる法令等を遵守し、諸室の配置についても十分に配慮し整備を進めてまいります。</p>	修正無し
9	<p>野田市郷土博物館は、有料の時代がありました。調査不足です。記念館の費用は、利用者にも負担させるべきではないでしょうか。</p>	<p>入館料につきましては、観光の拠点として記念館に多くの方に来館していただくことを第一に考え無料とするか、又は入館料を徴収することによる維持管理費に対する効果と集客面への影響を検討した上で有料とする、若しくは企画展を運営する上で必要な費用を徴収するなど、様々な方法を含め検討をしてまいります。</p> <p>ただし、頂いた御意見のとおり、郷土博物館につきましても、観覧料を定めていた経緯があることから、その旨を追加修正いたします。</p>	修正有り